

平成27年度第2回府中市健康地域づくり審議会報告書（概要）

- 1 日時 平成28年3月24日（水）18：56～21：00
- 2 場所 府中市文化センター3階会議室3
- 3 出欠 委員11名中10名出席
- 4 内容

(1) 平成27年度施策の成果について

【分科会名】次世代創造分科会	
【政策指標の状況】	
① 平成24年度 出生数253人（〔目標〕平成31年度 257人） ② 平成22年 有配偶者率51.6%（〔目標〕平成32年 52.1%） ③ 平成22年 合計特殊出生率1.55（〔目標〕平成32年 1.65）	
【開催日】	【平成27年度実施施策】
8月19日（水）	ア 婚活支援講座「マリ・トレ」…カップル2組成立 イ 出産応援金支給…支給実績241件（3/24現在） ウ 不妊治療支援…支給実績17件（3/24現在） エ 中学生向啓発講演会…4中学校中2校で講演会開催
11月27日（金）	オ 女性起業支援補助金創設…申請3件 カ ワンストップサービス開始 キ 就労プログラム（母子・父子自立支援員）
2月24日（水）	…利用4件中就労2件 ク ハローワーク求人情報オンライン提供 ケ 総合支援サイト「ちゅちゅ」の情報発信 コ 男女共同参画（e.街いきいき）フォーラム開催…6月
【分科会名】いきいき世代づくり分科会	
【政策指標の状況】	
① 平成26年度メタボリックシンドローム予備群9.5% （〔目標〕平成29年度 7.6%） 平成26年度 同該当者 16.8% （〔目標〕平成29年度11.4%） ② 平成26年人口10万人対自殺死亡率16.7（〔目標〕平成36年度16.1） ③ 平成26年度就労支援事業から一般就労への移行者1人（〔目標〕平成29年度10人）	
【開催日】	【平成27年度実施施策】
7月16日（木）	ア 中学生・保護者健診…中学生14人、保護者9人受診 イ 府中焼きマンボ体操…43回、2,845人参加

11月19日(木) 2月4日(木)	ウ 食育拠点整備(府中市民病院内レストラン) エ メンタルヘルス・セルフケアのしおり配布 …276事業場1,380部 オ 管理監督者研修会開催…22事業場46人参加 カ 府中市自立支援協議会(就労支援部会) …計4回開催、講演会1回 キ 障害者就労支援施設等からの物品優先調達
----------------------	--

【分科会名】 熟年元気づくり分科会

【政策指標の状況】
 平成26年度末元気高齢者の割合 78.3% ([目標] 平成32年度末 79.9%)
 (同 平成36年度末 81.8%)

【開催日】	【平成27年度実施施策】																								
7月15日(水)	ア 生きがい創業ビジネス補助金…申請4者、補助額2,607千円 <table border="1"> <tr> <td>町おこし協力事業 たまる屋</td> <td>669千円</td> </tr> <tr> <td>竹内農園(漬物工場部)</td> <td>937千円</td> </tr> <tr> <td>府中市ふるさと産品センター</td> <td>450千円</td> </tr> <tr> <td>地域助け合い事業・森林体験事業</td> <td>551千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,607千円</td> </tr> </table>	町おこし協力事業 たまる屋	669千円	竹内農園(漬物工場部)	937千円	府中市ふるさと産品センター	450千円	地域助け合い事業・森林体験事業	551千円	合 計	2,607千円														
町おこし協力事業 たまる屋	669千円																								
竹内農園(漬物工場部)	937千円																								
府中市ふるさと産品センター	450千円																								
地域助け合い事業・森林体験事業	551千円																								
合 計	2,607千円																								
11月17日(火)	イ プラチナ大学 …公開講座2回・連続講座6回、延べ208名参加 <table border="1"> <tr> <td>7月18日(土)</td> <td>公開講座</td> <td>50名</td> </tr> <tr> <td>9月9日(水)</td> <td>連続講座</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>9月30日(水)</td> <td>連続講座</td> <td>11名</td> </tr> <tr> <td>10月7日(水)</td> <td>連続講座</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>10月28日(水)</td> <td>連続講座</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>12月9日(水)</td> <td>連続講座</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>12月16日(水)</td> <td>連続講座</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>1月23日(土)</td> <td>公開講座</td> <td>85名</td> </tr> </table>	7月18日(土)	公開講座	50名	9月9日(水)	連続講座	13名	9月30日(水)	連続講座	11名	10月7日(水)	連続講座	14名	10月28日(水)	連続講座	10名	12月9日(水)	連続講座	12名	12月16日(水)	連続講座	13名	1月23日(土)	公開講座	85名
7月18日(土)	公開講座	50名																							
9月9日(水)	連続講座	13名																							
9月30日(水)	連続講座	11名																							
10月7日(水)	連続講座	14名																							
10月28日(水)	連続講座	10名																							
12月9日(水)	連続講座	12名																							
12月16日(水)	連続講座	13名																							
1月23日(土)	公開講座	85名																							
3月14日(月)	ウ 新しい総合事業への移行…生活支援サービスの体制整備に向けた協議体(第2層)を上下地区で立ち上げ																								

【分科会名】 長寿サポート分科会

【政策指標の状況】
 平成26年度 人生の最終段階を在宅で迎える高齢者の割合 19.76%
 ([目標] 広島県の率(平成26年度は21.62%)を上回る)

<p>【開催日】</p> <p>10月14日（水）</p> <p>11月25日（水）</p> <p>3月11日（金）</p>	<p>【平成27年度実施施策】</p> <p>ア 在宅医療推進拠点事業 …地域支援事業として府中地区医師会に委託</p> <p>イ 生活支援サービスの体制整備 …協議体（第2層）を上下地区で立ち上げ</p> <p>ウ ハイブリッド人材の育成…地域包括ケア人材育成協議会</p> <p>エ 看取りに対する心構え促進…高齢者肺炎予防セミナー開催</p> <p>オ 在宅生活の支援体制 …地域包括支援センターサブセンター設置（南部・北部両圏域）</p> <p>カ 地域密着型サービスの充実</p> <p>キ 認知症初期集中支援チームの設置準備</p> <p>ク 介護予防活動の育成・支援 …元気もりもり体操15団体300人</p>
---	---

【意見交換の概要】

〔次世代創造分科会〕

- ・事業成功のカギは広報。対象世代は様々な方法で子育て情報を得ているので、適切にアピールすることが大切。
- ・子育て世代には住まいの問題も大きい。空き家情報もほしい情報なのではないか。
- ・子育てに関わる夫を育てていくことも必要なのではないか。
- ・各分科会が施策を通じて連携していくことが必要だ。

〔いきいき世代づくり分科会〕

- ・がん予防、がん対策に関する記載がなく、取組が十分なされているのか分からない。
- ・がん、生活習慣病予防には運動と禁煙が効果的。禁煙については、若年層、特に高校生への指導啓発が必要だ。

〔熟年元気づくり分科会〕

- ・生きがい創業ビジネス補助金については、高齢者の就労の場の確保、働く活力づくりにつながるもので有効だ。これが困りごとへの支援という次の課題につながることを期待される。

〔長寿サポート分科会〕

- ・認知症に対する施策については、専門医の参画のみならず、市民が参画できる工夫をすると良い。
- ・災害時の要介護者支援については今後の課題である。

(2) 平成28年度施策について

各分科会における平成28年度施策（案）については、資料2を参照のこと。

【意見交換の概要】

〔次世代創造分科会〕

- ・ウッドスタート事業は唐突な名前だが、ユニークな取り組みだと思う。

〔いきいき世代づくり分科会〕

- ・高校生に対する禁煙の指導啓発については、実現に向けて努力すること。併せて、高校生への食育についても実施に向けた検討を進めることが必要。高校は県教委の所管だから市では取組みができないというのは怠慢だし勿体ない。

〔熟年元気づくり分科会〕

- ・しっかりと施策を推進して成果を挙げてもらいたい。

〔長寿サポート分科会〕

- ・審議会、分科会での議論を通じて制度を作り上げていくことは大切だが、フォーマルサービスとインフォーマルサービスの連携が大切であることをしっかり心掛けてほしい。

5 まとめ

各分科会事務局においては、本審議会での意見を踏まえて平成28年度施策を着実に実行し、成果を検証していくこと。